

大正・港エリア空き家活用協議会

～DIYを活用した空き家活用を行う相談窓口～

【事業実施の背景】

- 少子高齢化により人口は減少傾向にあり、地域の活性化のため、若年世帯を呼び込む取組が必要
- 賃貸用の戸建て空き家が多い
- 比較的地価は安い、が、放置され、流通しない空き家が散見される

【事業の特徴】

- シェアオフィス及び大正区役所に相談窓口を設置し、相談内容に応じて役割分担
- 地域の良さを伝え、空き家と借主をマッチングする連続セミナーの開催
- DIY希望者を支援する、DIYサポーターの普及

総合相談窓口

■相談窓口の設置場所

TAISHO DOCK、大正区役所総務課

■相談対象者(内容)

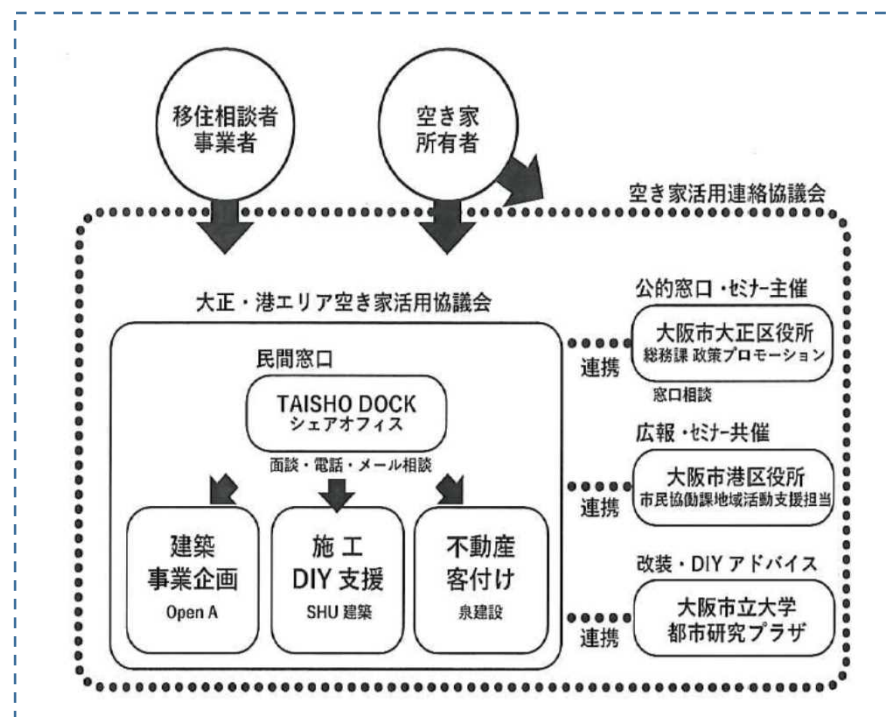
- 空き家等の所有者(修繕、活用、DIY支援等)
- 空き家等の活用を検討する事業者(融資、プランニング等)

■特徴

- 相談内容に応じた相談窓口を設置
シェアオフィス(空き家の活用に関する相談)
大正区役所(所有者や住民からの相談)
- 協議会メンバーで会議を月1回開催し、課題を共有
- 空き家活用セミナーや区役所内での相談会のほか、地域の良さを伝えるトークイベントを開催

その他のモデル的な取組

- DIYイベント及びサポートの実施
- 個人住宅を取得し、住宅以外の事業物件として用途変更を行い、賃貸運営



平成28年度実績

■ 総合相談窓口

対象地域内に所在する個人住宅等の所有者からの相談	6件
対象地域内への住替又は移住検討者からの相談	4件
地域内で事業を実施しようとする利活用検討者からの相談	2件
その他	59件

■ 空き家活用セミナー(個別相談会)の開催(2回) 参加者数：第1回48名/第2回63名

事業の成果

- 潜在的な空き家活用の需要を引き出すために開催したオーナー向けのセミナーに216人が参加
- 区役所と協力し、区役所内での個別相談やセミナー後の個別相談会を開催

今後の課題

- 相談できる団体として信頼を得るため、空き家活用の成功事例を重ねることが重要
- 大正・港エリアに多い昭和30～40年代の木造住宅は、耐震改修まで含めたリノベーションとなるため、利益率向上や工事費を抑制するための方策の検討が必要

今後の事業展開

- 築古空き家の収益物件への転換モデルの確立
- 単なる住宅再生ではなく、店舗や事業所の併設による地域再生に資する取組